

寺井紗知子 議員

運転免許証自主返納者への

優遇制度は

問 タクシー運賃割引制度の導入や運転経歴証明書発行手数料助成の考えは。

答 県タクシー協会加盟事業所では運賃1割引サービスがある。市はこの上に、さらに上乗せしていくことの検討や、運転経歴証明書の発行手数料助成制度導入に向けても、検討していきたい。

教職員の多忙化解消に向けて

問 教員の月平均超過勤務時間数は小学校で77時間、中学校で89時間という勤務実態があるが、どう考えるか。

答 多くの支援員を配置することや、校務支援ソフトは全国的にも先進的な導入で、ICTを活用した多忙化解消策に工夫と改善を進めていきたい。



「遊水池公園」予定地

治水対策事業の進捗状況

問 駅南地区新幹線南側の遊水池公園計画の見通しは。

答 貯留容量1万6000tを確保するため小川町郵便局の北側約2万㎡の敷地の概略検討を行い、29年度から遊水池公園の課題等を整理していく。新幹線南から高南地区まで約61億円の治水対策費がかかる。財政状況も踏まえ、整備手法や時期などを併せて検討していきたい。

伊藤謙一 議員

市民に選ばれるまちづくり

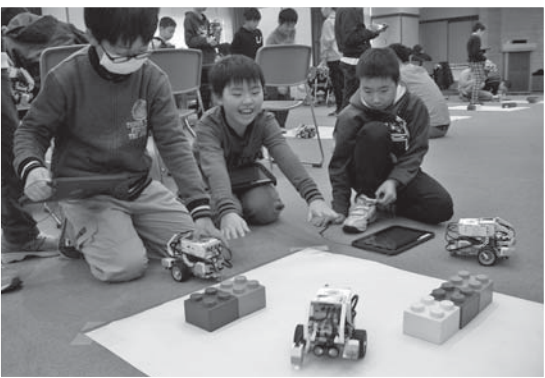
問 本市は目指すべき都市像として「日本一健康文化都市」を掲げ、具体的な目標を市民主体の協働によるまちづくりと市民満足度の高い都市経営の実現としているが、本市の考える市民の満足度とは何か。

答 日本一健康文化都市の実現に向けたまちづくりは、様々な施策の積み重ねで実現していくと考えている。まちづくりの指針として市の最重要計画である総合計画内にて、各分野の指標を総合的に勘案し、市民の満足度の向上に取り組んでいきたいと考えている。しかし、市民の満足度を具体的な指標にすることは未着手である。市民満足度調査で得られた市民ニーズが市の事業と整合しているか、また、市の自己政策評価点が市民から見ても同じ評価であるかを今後の施策に活かしていくべきと考える。

人工知能に関して

問 この分野を、自治体の課題解決に活かすべき。また、次代を担う子どもたちには十分なプログラミング教育の提供が今後必要であると考え、現状の課題は。

答 小学校においては平成32年度から、中学校においては既にプログラミングに関する教育を取り上げている。十分な教員の知識及び教材のもと授業に支障がないよう努めていきたい。



市が開催したロボットプログラミング教室の様子